

改訂日 2024年2月14日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	dl-カンフル
製品番号	10
供給者の会社名	岩嶋薬品株式会社
住所	名古屋市守山区桜坂4丁目201番地
電話番号	052-715-5601
ファックス番号	052-715-5602
電子メールアドレス	info@iwashimayakuhin.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用の試薬である。人又は動物に用いない。

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	可燃性固体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (中枢神経系)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (神経系、肝臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
	絵表示 (ピクトグラム)	
		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	可燃性固体 眼刺激 臓器 (中枢神経) の障害 長期にわたる又は反復ばく露による臓器 (神経系、肝臓) の障害 水生生物に有害	
注意書き		
安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざける。禁煙。 容器を接地しアースを取る。 防爆型の機器を使用する。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。 取り扱い後はよく手を洗う。眼には触らない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入をしない。 屋外または換気の良い場所だけで使用する。 環境への放出を避ける。	
応急措置	火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用する。 眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する。 気分が悪い時は医師の診察、手当を受ける。	
保管	施錠して保管する。	
廃棄	内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。	
他の危険有害性	情報なし	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	dl-カンフル
濃度又は濃度範囲	99.0パーセント
分子式 (分子量)	C10H16O (152.23)
CAS登録番号 (CAS RN)	76-22-2
官報公示整理番号 (化審法)	(4)-308, (4)-601

官報公示整理番号（安衛法）	7-(2)-37, 7-(2)-63	
化管法指定化学物質の種別	-	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	非該当	
4. 応急措置		
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師に連絡する。	
皮膚に付着した場合	流水で洗い流す。症状が続く場合には、医師の診察を受ける。	
眼に入った場合	水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外す。その後も洗浄を続ける。症状が続く場合には、医師の診察を受ける。	
飲み込んだ場合	口をすすぐ。気分が悪い時は、医師に連絡する。	
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし	
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	必要に応じて個人用保護具を着用する。	
医師に対する特別な注意事項	情報なし	
5. 火災時の措置		
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤 二酸化炭素を使用する。	
使ってはならない消火剤	棒状放水	
火災時の特有の危険有害性	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。	
特有の消火方法	火災の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。 情報なし	
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	状況に応じ適切な自給式の呼吸器保護具、眼や皮膚を保護する保護具を着用する。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 十分に換気し、作業者は適切な保護具を着用する。 漏出した化学物質から出た粉じんや蒸気等を吸い込まないようにする。	
環境に対する注意事項	環境への排出を避ける。	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を飛散させないよう適切に回収する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 廃棄物の処理にあたっては、「13.廃棄上の注意」の項を参照すること。	
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 汚染物の残留を除くため汚染された物体および場所をよく洗浄する。	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護具を着用する。
取扱い	安全取扱い注意事項	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 乱暴な扱いをせず、粉じん、ミスト（霧）、蒸気との接触や吸入を避ける。 保護具を着用する。 使用後は容器を密閉する。 取り扱い後は手をよく洗う。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
	接触回避	「10.安定性及び反応性」を参照。
	衛生対策	取り扱い後は手をよく洗う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。
保管	安全な保管条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。
	安全な容器包装材料	ガラスなど吸着しにくい密閉容器。
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		設定されていない
許容濃度	日本産衛学会	設定されていない
	ACGIH	TLV: 2 ppm (TWA) ; 3 ppm (STEL)
設備対策		取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	局所排気装置を設置する。 防じんマスクや防毒マスク 保護手袋 ゴーグル型保護眼鏡 実験用白衣や長袖作業衣 保護具は保護点検表により、定期的に点検する。
特別な注意事項		
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状态	状態 色 臭い	固体 無色又は白色半透明 特異な芳香 臭い
融点・凝固点		175 ~ 180℃
沸点又は初留点及び沸点範囲		204℃
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		0.6-3.5 vol%(空气中)
引火点		66℃
自然発火点		460℃
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		本品はエタノール(95)、ジエチルエーテル又は二硫化炭素に溶けやすく、水に溶けにくい。
n-オクタノール／水分配係数 (log値)		log P =2.38
蒸気圧		0.027kPa (20℃)
密度及び／又は相対密度		0.992 (25/4℃)
相対ガス密度		5.24(空気=1)
粒子特性		データなし
その他データ		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		データなし
化学的安定性		熱、光により分解する
危険有害反応可能性		燃焼すると分解して、有毒な気体、刺激性のヒュームを生じる。強力な酸化剤、強力な還元剤、塩素化溶媒と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。
避けるべき条件		燃焼
混触危険物質		強力な酸化剤、強力な還元剤、塩素化溶媒
危険有害な分解生成物		有毒な気体、刺激性のヒューム
11. 有害性情報		
急性毒性（経口）		経口LD50：1310mg/kg（マウス）
急性毒性（経皮）		データなし
急性毒性（吸入：気体）		データなし
急性毒性（吸入：蒸気）		吸入LD50：0.5 mg/L ((飽和蒸気濃度：5.3 mg/L)、ばく露時間不明)
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）		データなし
皮膚腐食性／刺激性		皮膚の刺激感と痛み（ヒトボランティアの皮膚、20%アルコール溶液）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		刺激性
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		慢性ばく露により接触性皮膚炎のほかアレルギー反応も惹起される可能性
生殖細胞変異原性		90日間経皮投与後のマウスの骨髄を用いた小核試験：陰性 腹腔内投与による姉妹染色分体交換試験：陽性 Ames試験：陰性
発がん性		ACGIH: A4 (ヒトに対する発がん性物質としては分類されない)
生殖毒性		流産誘発に使われた経緯があり、胎児や新生児の死亡に関連しているとの報告があるが、詳細は不明
生殖毒性・授乳影響		データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		摂取により重篤な症状を呈し、死亡あるいは入院に至った症例が多数報告されている。嘔吐、痙攣、昏睡、発作または大発作、てんかん状態、視力障害などが特徴的な症状であり、時には情緒不安、錯乱、譫妄が見られている。中枢神経系の刺激と脳の興奮をもたらすことによる結果と考えられる。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 誤えん有害性	頭痛、呼吸困難、昏睡、肝腫 データなし
1 2. 環境影響情報	
生態毒性	水生環境有害性（短期/急性） LC50 = 35mg/L（魚類（ゼブラフィッシュ）、96時間） 水生環境有害性（長期/慢性） データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物 汚染容器及び包装	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
1 4. 輸送上の注意	
国際規制	国連番号 UN2717 品名（国連輸送名） ショウ脳、合成品 国連分類（輸送における危険有害性クラス） 4.1 副次危険 - 容器等級 III 海洋汚染物質 非該当
国内規制	海上規制情報（危険物船舶運送及び貯蔵規則） 可燃性物質類 可燃性物質（船舶安全法） 航空規制情報（航空法施行規則） 可燃性物質類 可燃性物質（航空法） 陸上規制情報 非該当
1 5. 適用法令	
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
1 6. その他の情報	
引用文献および参照ホームページ等	独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）：化学物質総合情報提供システム 厚生労働省：職場のあんぜんサイトGHS対応モデルSDS情報 日本薬局方 稲垣勲（1972）『植物化学』第4版 医歯薬出版 National Institutes of Health：PubChem 欧州リスク評価委員会：Opinion of the Committee for Risk Assessment（RAC） in EU
本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。	
本データシートは当該製品の化学物質としての危険性又は有害性の情報を提供するものです。ただし、記載した情報は公開情報、文献などに基づく参考情報であり、いかなる保証をするものではありません。	